

部局名	財務部			所属名	財政課			所属長名	安斉 喜久夫			電 話	483-1151 内線3310		
-----	-----	--	--	-----	-----	--	--	------	--------	--	--	-----	-----------------	--	--

1. 事務事業の位置付け・概要（PLAN）

コード	3505		事務事業名称	市債管理事業（元金）							短縮コード	経常	3505	臨時	3851	
予算区分	会計	01	一般会計		款	11	公債費		項	01	公債費		目	01	元金	
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他				根拠法令等		地方自治法第230条									
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）																
事業の財源として借り入れた長期債に係る元金の償還																
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測 交付税の削減に伴う振替財源としての臨時財政対策債により，純粋な投資的経費とは異なる理由で公債費が増加しており，将来債務を拡大させる要因となっている。					総合計画の施策体系	5本の柱（章）	06	計画推進のために								
						大項目（節）	01	パートナーシップによる市政運営と市民自治の推進								
						中 項 目	03	市民サービスの向上を図る行財政運営の確立								
						小項目（施策）	02	健全な財政運営の推進								
						細 項 目	01	財源の確保								
実施計画の計画事業																
計画事業の位置付けの有無				☐	計画事業期間		～			計画事業費		千円				

2. 事務事業の目的・指標・実績（DO）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	公債費							
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成22年度に実際に行ったこと： 公債費（元金）の償還 教育債の借換							
	※平成23年度に計画していること： 公債費（元金）の償還 教育債の借換							
意図 （何を狙っているのか）	借入と償還のバランスを調整し，市債の適正管理を行う。							
ねらい（上位施策の意図）	入力対象外							
区 分				単位	2 1 年度	2 2 年度		2 3 年度
					実績	計画	実績	計画
対象指標	指標 1	地方債現在高	千円	48, 983, 372	49, 578, 918	48, 369, 125	49, 368, 072	
	指標 2	起債制限比率	%	11. 4	12	11. 9	12. 6	
	指標 3	市債管理基金現在高	千円	2, 595	2, 597	2, 595	2, 597	
活動指標	指標 1	市債発行額（減税補てん債，臨時財政対策債等除く通常分）	千円	2, 630, 300	2, 020, 100	2, 531, 200	4, 150, 800	
	指標 2	市債管理基金積立金	千円	3	3	1	2	
	指標 3	市債元金償還額（減税補てん債・臨時財政対策債等除く）	千円	3, 512, 711	3, 562, 313	4, 640, 305	4, 146, 507	
成果指標	指標 1	起債制限比率	%	11. 4	12	11. 9	12. 6	
	指標 2	公債費負担比率	%	16. 3	16. 6	16. 1	17. 1	
	指標 3	市債発行額（減税補てん債・臨時財政対策債等除く通常分）	千円	2, 630, 300	2, 020, 100	2, 531, 200	4, 150, 800	
上位成果指標	指標 1							
	指標 2							
	指標 3							

コード	3505	事務事業名称	市債管理事業（元金）				所属名	財政課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☐ 改革・改善して継続			後年度の負担を考慮しつつ、引き続き市債の適正管理に努めていく。			
		☐ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
☐ 廃止・休止								
☐ 事業完了								
☒ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			計画的な償還を進め、健全な財政運営を行っていく。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☐	☐		
			不 変	☐	☒	☐		
			低 下	☐	☐	☐		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
借入額の抑制に努め、将来債務を見据えた財政運営に努めてほしい。									

所属長コメント	将来負担を見据え借入額の抑制に努め、適切な財政運営を推進してまいりたい。								
評価調整委員会評価	☐ 改革改善して継続			担当課の評価のとおり、現状のまま継続とする。					
	☐ 手法プロセスの改革・改善								
	☐ 事業規模の拡大・縮小								
	☐ 統合・役割見直し								
	☐ その他								
☐ 廃止・休止									
☐ 事業完了									
☒ 現状のまま継続									